



# 市議会だより



## ■主な内容

1月臨時議会の概要 .....	2
2月定例議会の概要 .....	2
各委員会での主な議案審査状況 .....	3
議決一覧 .....	9
代表質問 .....	11
一般質問 .....	12
鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会調査報告 .....	14
議会報告会 .....	15

## 第14回 鈴鹿市議会 議会報告会

「一緒に作ろう!#最高に住みやすいまち鈴鹿」

### 議会報告会を開催しました

2月2日、鈴鹿医療科学大学において、大学生中心の若者世代の方を対象に「住みやすいまち、住み続けたいまちとは」をテーマに、ワークショップ形式で議員との意見交換を行いました。40名の参加者が8つのグループに分かれ、さまざまなテーマに関して、若者ならではの多くの意見や質問、要望などを頂きました。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のウェブサイトをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



# 1 月臨時議会の概要

## 生活者支援のための物価高騰対策を計上した 令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)を可決

1 月臨時議会を、1月15日に開催しました。まず、市長から「令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)」の議案が提出され、提案説明の後、質疑を行い、採決の結果、可決しました。最後に、2月19日までを休会とすることを決定し、散会しました。

## 議決一覧(1月臨時議会)

1月臨時議会に上程された議案は、全会一致で可決しました。

議案第1号	令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)
-------	-----------------------

# 2 月定例議会の概要

## 令和7年度一般会計当初予算などを中心に38議案を可決

2 月定例議会を、2月20日から3月25日までの34日間の期間で開催しました。

まず、初日の2月20日には、市長から「令和7年度鈴鹿市一般会計予算」など27件の議案が提出され、令和7年度の施政方針が述べられた後、各提出議案に関する提案説明が行われました。続いて、市長から「令和6年度一般会計補正予算(第7号)」の議案が提出され、提案説明の後、同議案1件を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員会委員長から付託議案について審査結果の報告があり、1名の議員が討論を行った後、採決の結果、同議案は可決しました。

3月3日には、市長の施政方針に対し、3会派から代表質問を行いました。

4日には、提出議案に対する質疑を行い、4日、5日、7日、10日には、15名の議員が一般質問を行いました。

10日には、鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会委員長から調査結果の報告を受けた後、議案27件を各委員会に付託しました。また、市長から「令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)」など5件の議案が追加提出され、提案説明の後、提出議案を各委員会に付託しました。

その後、「デイサービス事業所における物価高騰対策及び介護職員処遇改善に対する支援に関する請願書」など2件の請願を地域福祉委員会に付託しました。

10日、12日、13日、21日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の25日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、5名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案32件はいずれも可決しました。次に、請願2件について地域福祉委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、1件を採択、1件を不採択としました。

次に、委員会発議案1件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。続いて、「鈴鹿市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について」など2件の委員会発議案が提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも可決しました。

その後、市長から「鈴鹿市副市長の選任同意について」など2件の人事に関する議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定しました。

最後に、4月29日までを休会とすることを決定し、散会しました。

# 各委員会での主な議案審査状況

## 総務委員会

議案第14号 市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部改正  
について



3月13日  
(午前)



3月13日  
(午後)

### 市長、副市長などの給与・報酬を改定

【概要】 市長、副市長、教育長、常勤の監査委員、上下水道事業管理者および市議会議員の給与および報酬を改定しようとするもの。

【質疑】 議員報酬を3%引き上げることになった理由。

【答弁】 人事院勧告により、民間と公務員との給与差が約3%弱の開きがあると示された点を参考にし、協議の結果3%の増額という結論に至った。

【質疑】 議会改革特別委員会での活動内容は、特別職報酬等審議会委員に伝わっているのか。

【答弁】 審議を進める上で、議会改革特別委員会において、議員報酬に関して詳細な調査や協議が行われたことを審議会委員に理解いただくため、議会改革特別委員会に提出された関係資料も特別職報酬等審議会の資料とし、議会改革特別委員会での協議の概要を説明している。

【質疑】 審議会の答申書に継続的な議員定数の検討がなされることを期待すると記載があるが、何を根拠にこのような議論になり、答申に至ったのか。

【答弁】 審議会の委員から、議員定数を4名削減し、約4,000万円の予算を減額していることは承知の上で、さらに定数を考えていく必要があるのではないかとの意見があった。委員がどういうことを根拠として述べたのかは審議の中で発言はなかったが、その委員の思いとして、このような発言があったところを、最終的には答申中の審議経過内に盛り込むこととなった。

## 文教環境委員会

議案第28号 財産の取得について



3月12日  
(午前)



3月12日  
(午後)

### 学校給食センターの厨房機器を更新

【概要】 鈴鹿市学校給食センターのスチームコンベクションオーブンを取得しようとするもの。

【質疑】 現状と同じ機能で、同じ台数を導入するのか。

【答弁】 現在の学校給食センターで使用しているものと同等の機能であるが、台数は、現状6台使用しているものを、5台とする。

【質疑】 現状より、1台減るとのことだが、支障はないのか。

【答弁】 学校給食センターで提供している給食業務に支障はない。

## 地域福祉委員会

議案第11号 鈴鹿市子ども条例の制定について



### 鈴鹿市子ども条例を制定

**【概要】** こどもの健やかな育ちを支援するに当たっての基本理念のほか、こどもの大切な権利や大人の責務と役割、基本的施策などについて定める「鈴鹿市子ども条例」を制定しようとするもの。

**質疑** 附則に「見直し規定」がないが、条例の見直しの対応については、どう考えているか。

**答弁** 条例の制定後に、社会情勢や市内の子どもを取り巻く環境が変化し、対応が必要となった場合には、条例の改正を行う。

**質疑** 第17条に「市は、計画に基づく施策の実施状況を定期的に検証し」とあるが、検証するのは第三者のほうが良いのではないか。

**答弁** 子ども・子育て支援法において、子ども・子育て会議の役割が定められており、同法に基づき、市内の子ども・子育て支援に関わる方で構成した鈴鹿市子ども・子育て会議で検証を行っていく。

## 予算決算委員会

予算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

### 総務分科会

議案第3号 令和7年度鈴鹿市一般会計予算



### 災害に備えた収容避難所の環境整備

○防災施設環境整備費／避難所等環境整備費 954万7,000円

**【概要】** 大規模災害時において、長期にわたる避難所生活にも対応できるよう収容避難所の環境整備を行うもの。

**質疑** マンホールトイレの詳細は。

**答弁** 桜島小学校のマンホールトイレは、令和6年度にマンホールの整備が終わり、令和7年度は便座やトイレ TENT を購入する予算を計上している。また、数量としては5基、一般用のものを購入する予定である。

**質疑** 下水道本管が破損した場合、マンホールトイレは使用できるのか。

**答弁** 非常時でも下水が流れる環境であれば、そのまま流すことができる。また、被災して下水管に破損が生じても、本管の下水管付近の止水栓を閉めれば、貯留型として利用可能で、くみ取りをすることにより、使用を維持できる構造になっている。

## 本市のシティプロモーションを展開

○シティプロモーション費 511万円9,000円

**【概要】** 総合計画2031に掲げる将来都市像の実現に向け、さまざまな媒体を活用したシティプロモーションを展開し、都市イメージの向上、交流・関係・定住人口の拡大などにつなげるもの。

**質疑** 県外でのプロモーション経費の400万円の内訳と旅費は。

**答弁** 大阪・関西万博で、万博首長連合が企画している「LOCAL JAPAN展」に、令和7年7月28日から31日まで出展する予定である。本市は、埼玉県所沢市、狭山市、入間市、奈良県生駒市と共創し、日本文化に関心のある外国人をターゲットとして、日本茶の文化と風味を楽しむという形でお茶をテーマに出展をする予定である。費用の内訳については、万博首長連合への負担金として、展示会場の設営、撤去費、運営、PR活動費などで80万円。お茶の飲み比べや抹茶のお点前、手もみ茶の実演などの企画にかかるインストラクターへの経費やブースを作る費用などで250万円を計上している。また、共益費や空調使用料、ごみの処分費用などの万博会場の使用料については70万円を想定しており、旅費は、約27万円計上している。

## 文教環境分科会



議案第3号 令和7年度鈴鹿市一般会計予算

## 電子図書を整備

○図書館サービス推進事業費／運営・サービス事業費 617万6,000円

**【概要】** 図書館の利用促進に係る経費を計上するもの。

**質疑** 電子図書の借り方、返し方は。

**答弁** パソコン、スマートフォンなどを利用して、図書館のウェブサイトからアクセスして、借りていただく。貸出期間は紙の本は14日としているが、電子図書については今後決定することとしている。電子図書の貸出期限が到来したら、自動的に返却される仕組みになっており、閲覧ができなくなる。

**質疑** 電子図書は、複数の人が重複して借りられるのか。

**答弁** コンテンツにもよるが、基本は1冊の扱いであり、複数人が重複して借りることはできない。



## 小学校の水泳授業を学校外施設で実施

○教育活動費等／水泳授業委託事業費 1,821万4,000円

**【概要】** 児童の確かな水泳技能習得のために、「鈴鹿市立小中学校における水泳指導及びプールの在り方に関する基本方針」に基づき、時期や天候に左右されない環境が安定した水泳授業を実施することが可能である学校外施設（公共・民間）の利用を拡充するもの。

**質疑** 水泳授業委託事業費の詳細は。

**答弁** 中学校は水泳の授業委託を実施していない。小学校は、令和6年度は6校で委託をしており、令和7年度はそれより拡大という形になる。児童1人当たり、4回程度、学年ごとに民間のプールなどを利用する。事業費は、バスでの送迎に関する費用も含めての金額となっているが、委託先がバスを手配する場合もあれば、本市がバスを手配する場合もある。

## 地域福祉分科会



2月20日



3月13日  
(午前)



3月13日  
(午後)

議案第3号 令和7年度鈴鹿市一般会計予算

## 予防接種を公費負担で実施

○定期予防接種費 6億4,450万9,000円

○任意予防接種費／带状疱疹ワクチン接種費 750万円

**【概要】** 予防接種法などの関係法令に基づき、各種予防接種（定期接種）を、また任意予防接種として区分される带状疱疹ワクチンの接種に対し、費用助成により実施するもの。

**質疑** 带状疱疹ワクチンの新たな定期予防接種と任意接種の対象者、実施時期、周知方法について。また、ワクチンは2種類あるが、どちらも対象となるのか。

**答弁** 带状疱疹ワクチンは令和7年4月1日から定期接種化が示され、対象は65歳の者、もしくは60歳以上65歳未満で、免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する者として、厚生労働省令に定める者である。65歳を超える方については、高齢者肺炎球菌ワクチンと同様に、5年の経過措置として5歳ごとに70歳から100歳を位置付けている。100歳以上の方については定期接種開始初年度に限り全員を対象とする。ワクチンは2種類あり、2回接種する不活化ワクチンと、1回接種の生ワクチンがある。任意接種の50歳以上の方への助成は不活化ワクチンのみ。1回接種で完了する生ワクチンと違い、不活化ワクチンは、2カ月から6カ月の間隔を置いて2回接種が必要で、令和6年度の費用助成で接種を完了するには遅くとも、令和7年1月中に1回目を接種しておく必要があるが、今回国から定期接種化が示されたのは12月下旬で、市民への周知が困難なことから、令和6年度に不活化ワクチンの1回目を済ませた方に限り、2回目の接種費用を4月以降も半年間に限り助成する。周知については、速やかにウェブサイトやSNSなどで行う。



## 市道算所309号線の利用者の安全を確保するための道路整備

### ○道路交通安全対策事業費／算所309号線 2,600万円

**【概要】** 市道算所309号線は、主要地方道鈴鹿環状線を起点に市道西条道伯線へとつながる重要な道路であり、隣接する中学校の通学路に指定されている。朝の通勤通学時間帯は、通勤車両と通学生徒が相まって混雑し危険な状態となっているため、すべての道路利用者の安全を確保するために歩道の新設ならびに路肩整備を含む車道の拡幅整備を行うもの。

**質疑** 対象となる区間および整備内容はどのようなものか。

**答弁** 主要地方道 鈴鹿環状線（通称：中央道路）の算所公園前交差点南から三重県立飯野高等学校までの区間約680mを道路改良する。内容としては、対象区間において道路保全課が片側（西側）に自転車・歩行者道の新設を行い、道路整備課が路肩整備（東側）を含む車道拡幅を行う。

## C-BUSの運行と利便性向上

### ○西部地域C-BUS運行事業費 1億139万6,000円

### ○南部地域C-BUS運行事業費 8,779万9,000円

**【概要】** 西部地域、南部地域においてコミュニティバス（C-BUS）を各地域2路線運行するもの。

**質疑** 昨年度と比較して、西部地域の事業費を増額し、南部地域の事業費を減額とした理由。

**答弁** 西部地域の事業費増額については、人件費や燃料代などの高騰によるものが原因で、南部地域の事業費減額については、南部地域の路線見直しの必要が生じた場合に調査・検証のための費用を計上していた。しかし、実際は、路線見直しを行わなかったことから、令和6年度と令和7年度を比較して減額となっている。

**質疑** バス・ロケーションシステム（※）の導入費用について。

**答弁** 西部地域・南部地域ともに、C-BUSにおいて、同システムを導入する予定であり、両地域の運行台数に応じて、予算を振り分けて計上している。



※GPSなどを利用して、車両の位置情報を把握し、利用者にスマートフォンを通じて運行状況を提供するシステム。これにより、バスの運行状況（渋滞によるバスの遅延状況など）を把握することができるようになる。

## 討論 (要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

### <議案第2号について>

諸派  
(日本共産党)

石田 秀三 議員

#### 議案第2号に賛成

一般会計補正予算(第7号)の各事業は物価高騰対策であり賛成するが、9月補正で私立保育所と学校の給食費を一般財源で支援したものを、今回、国の交付金に財源更正するのは、交付金の趣旨と異なると思う。



### <議案第3号～議案第34号について>

諸派  
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

#### 議案第3号・議案第4号・議案第14号・議案第24号に反対 その他議案は賛成

物価上昇が続き生活が大変な中、市民には国民健康保険料約10%増額、給食費も値上げし、市民負担を増やし、特別職の給料・報酬を引き上げるのは問題。配慮すべきは負担を増やさず市民の生活を守ることである。



自由民主党  
鈴鹿市議団

森 雅之 議員

#### 全議案に賛成

鈴鹿市東京事務所は中央官庁その他各種団体との連絡調整や政策実現に資する情報収集をより効率的・効果的に行い、首都圏におけるトップセールスやシティプロモーションを推進するための拠点として必要。



市民の声

市川 哲夫 議員

#### 議案第11号に反対

鈴鹿市子ども条例の策定に当たっては、骨子案ではなく、前文が記載された条例案でのパブリックコメントを実施しなければ「鈴鹿市意見公募手続要綱」を遵守したことにはならないと考える。



諸派  
(公明党)

藤浪 清司 議員

#### 全議案に賛成

議案第11号鈴鹿市子ども条例の制定について、条例は作って終わりではなく、今後子どもの権利、特に意見表明の権利、意見の尊重、施策への反映について全庁的に理解を深め実行することが重要である。



市民の声

中西 大輔 議員

#### 全議案に賛成

議案第11号鈴鹿市子ども条例の制定について、条例案提出に至る過程で議会軽視や市民軽視の大きな懸念があり、葛藤したが、市長以下の強い意志と覚悟があると受け取ったことと、将来への可能性から賛成する。



# 議決一覧（2月定例議会）

## 【全会一致で可決した議案など】

議案番号など	件名
議案第2号	令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)
議案第5号	令和7年度鈴鹿市土地取得事業特別会計予算
議案第6号	令和7年度鈴鹿市介護保険事業特別会計予算
議案第7号	令和7年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計予算
議案第8号	令和7年度鈴鹿市水道事業会計予算
議案第9号	令和7年度鈴鹿市下水道事業会計予算
議案第10号	鈴鹿市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について
議案第12号	鈴鹿市行政組織条例等の一部改正について
議案第13号	鈴鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第15号	鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について
議案第16号	鈴鹿市職員の旅費に関する条例等の一部改正について
議案第17号	鈴鹿市職員退職手当支給条例の一部改正について
議案第18号	鈴鹿市手数料条例の一部改正について
議案第19号	鈴鹿市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正について
議案第20号	鈴鹿市人権教育センター条例の一部改正について
議案第21号	鈴鹿市小集落改良住宅管理条例の一部改正について
議案第22号	鈴鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第23号	鈴鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第25号	鈴鹿市市営住宅条例の一部改正について
議案第26号	鈴鹿市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議案第27号	鈴鹿市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
議案第28号	財産の取得について
議案第29号	市道の認定について
議案第30号	令和6年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)
議案第31号	令和6年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
議案第32号	令和6年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案第33号	令和6年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第34号	令和6年度鈴鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第35号	鈴鹿市副市長の選任同意について
議案第36号	鈴鹿市固定資産評価員の選任同意について

(次ページに続く)

(前ページから続く)

議案番号など	件名
委員会発議案第1号	デイサービス事業所における物価高騰対策及び介護職員処遇改善に対する支援を求める意見書
委員会発議案第2号	鈴鹿市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について
委員会発議案第3号	鈴鹿市議会委員会条例の一部改正について

※ 可決した1件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。なお、提出した意見書は、市議会ウェブサイトにて閲覧できます。



**【全会一致で採択した請願】**

請願第1号	デイサービス事業所における物価高騰対策及び介護職員処遇改善に対する支援に関する請願書
-------	--

**【賛成多数で可決した議案など（表決が分かれた議案など）】**

議案第3号	令和7年度鈴鹿市一般会計予算
議案第4号	令和7年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計予算
議案第11号	鈴鹿市子ども条例の制定について
議案第14号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部改正について
議案第24号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について

**【賛成少数で不採択とした請願】**

請願第2号	「鈴鹿市子ども条例」に「子どもの権利条約」、「子ども基本法」並びに「鈴鹿市まちづくり基本条例」を活かすことを求める請願書
-------	--

**【表決が分かれた議案などに対する各議員別の賛否状況 ○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席】**

※会派名は、公明党、鈴和および日本共産党は諸派、無は無所属です。  
 ※議長 池上茂樹は原則として採決に加わりません。

会派名	新緑風会					自由民主党鈴鹿市議団					市民の声				公明党		鈴和		日本共産党		無	無							
議員名	河尻浩一	大杉吉包	水谷進	山口善之	山中智博	曾我正彦	加藤公友	松葉谷光由	森雅之	野間芳実	森喜代造	宮木健	太田龍三	田中淳一	桐生常朗	中西大輔	市川哲夫	薮田啓介	市川昇	藤井栄治	藤浪清司	船間涼子	田中通	南条雄士	石田秀三	高橋さつき	矢田真佐美	池上茂樹	
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	棄	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○



起立採決の様子

## 代表質問（要旨）

代表質問は、市長の新年度施政方針に対し、会派を代表して各1人が質問するものです。

令和7年2月定例議会では、市長から令和7年度の施政方針が述べられ、その内容について質問を行いました。

新緑風会

河尻 浩一 議員

### 令和7年度施政方針について

**（質問）** ①恵まれた産業や地域資源の維持活用について、②医療機能の強化について、③途切れのない支援について問う。

**（答弁）** ①新規企業の誘致に加え本市経済を支えている既存企業の支援も重要と考えており、県内トップクラスの産業支援制度をこれまで多くの市内既存企業に活用いただいている。今後も、

新規企業の誘致との相乗効果で地域産業を活性化していく。②鈴亀がん医療圏で唯一、国から指定を受ける「地域がん診療連携拠点病院」機能の更なる充実のため、治療に必要な放射線治療機器の導入支援を行うなど、公的病院の役割を担う基幹病院への支援を行い地域医療体制の維持・強化に努める。③令和7年4月からスタートする「第3期鈴鹿市こども・子育て支援事業計画」により、事業に関係する機関、団体などと連携・協働し、市全体で途切れのない支援を推進する。



自由民主党  
鈴鹿市議団

宮木 健 議員

### 令和7年度施政方針について

**（質問）** ①令和8年度には「（仮称）鈴鹿市立新たな小学校」が開校し、令和14年度には本市最初の小中一貫校（義務教育校）が設置される予定だが、少子化の進展を踏まえ、その後の小中学校の施設整備をどのように検討するのか。②令和7年度からの産業用地開発支援事業として、開発事業者や立地検討企業への有効なインセン

ティブとなる新たな支援制度の創設とは。

**（答弁）** ①天栄中学校区の取り組みを踏まえ、中学校区ごとの系統的な学習カリキュラムを編成し、全市的に幼小中一貫教育を推進する。施設整備は中長期的な視点から「学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」の見直しの際に全市的に検討する。②開発事業者を対象とした「産業用地開発支援事業補助金」を令和7年度に創設し、インフラ整備に要する費用の2分の1に相当する額を補助金として交付する。



市民の声

中西 大輔 議員

### 令和7年度施政方針について

**（質問）** ①市税収入、市債残高や発行余力、基金残高などを踏まえた財政状況の認識は。歳入増と歳出抑制に対する考えは。②こどもの権利について行政内とこどもへの理解促進の取り組みは。支援と参加の両面から、若者政策に対する考えは。③地域の高齢化に危機感はあるか、人材育成や確保の観点も踏まえた取り組みは。

**（答弁）** ①今後を見通すと難しい状況。歳入は市外からの獲得と市外への流出抑止、歳出抑制は行財政改革の視点を取り入れ行政サービスの在り方や事業手法を見直す。②こどもの権利やこども・子育て支援への理解・促進に部局横断で取り組み、こどもへの周知・啓発を行う。次計画で若者の支援策などを検討する。③地域づくり協議会における人口減少や高齢化について地域づくりの担い手不足に多大な影響を与える課題と認識。地域活動に参加していただけるよう市民に周知・啓発を行う。



## 一般質問 (要旨)

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずねるものです。

諸派(公明党)

藤浪 清司 議員

### 公共施設のLED化について

(質問) 2年後に蛍光灯の製造終了が決まっている。公共施設でも多くの施設で蛍光灯を使用しており、計画的にLED化を進めなければならない。計画と予算について、尋ねる。

(答弁) 本市の公共建築物210施設の内、42施設が全面的にLED化されている。市役所本館を例にすると、すでに実施している1階と2階を除いた残りの取り替えに概算で2億円を要する見込み。国の補助金などを可能な限り活用し、計画的にLED化を推進する。

その他の質問 ○事前防災 ○福祉の視点からの交通手段確保



市民の声

藤井 栄治 議員

### 地域公共交通について

(質問) 子ども議会において質問されているが、公共交通の利便性向上とデマンド型交通の導入について本市の取り組みはどうか。

(答弁) 公共交通の利便性向上に向けて、利用者数をコロナ禍前の実績に回復し、今ある公共交通サービスの維持に努める。デマンド型交通は、2地域で実証運行を行っており、運行終了後の評価・検証を通してデマンド型交通が本市に適するのかどうかの検討を行い、市内他地域への展開が可能かどうかも含めて総合的に判断する。

その他の質問 ○民生委員・児童委員



市民の声

中西 大輔 議員

### 休日部活の地域移行について

(質問) 休日部活動の地域移行について、生徒のニーズは多様であるから、より広い視点で『多様なこどもの居場所づくり』として議論を進め、市長部局が主体となって取り組むべきだが、市長の考えを問う。

(答弁) 部活の地域移行はこどもの居場所づくりだけを目的とはしないが、抱える問題や取り巻く環境によっては、主体性などを育み社会参画などを促す機会につながることもあり、あらゆる機会を活用し、居場所づくりのための活動が進展するよう取り組む。

その他の質問 ○千代崎海岸の取り組み



新緑風会

加藤 公友 議員

### 安心して働き、子育てできる環境に向けて

(質問) 放課後児童クラブは、費用、施設、利用時間などさまざまな課題がある。課題解決に向けては、全国で進む学校施設の活用が有効と考えるが、本市の現状と今後について問う。

(答弁) 学校施設の活用には管理責任の明確化など課題はあるが、特別教室などのタイムシェアも含め関係部局などと連携し、学校現場との協議を重ね、まずはモデル的に試行実施に向けて進め、その中でハード・ソフト両面の課題を洗い出し、本格運用へつなげていく。

その他の質問 ○サステナブルなまち鈴鹿を目指して



新緑風会

松葉谷 光由 議員

### 地域防災について

(質問) 災害発生時に、避難者などがLINEアプリを活用した安否確認や各種防災アプリを使用した情報収集を行うためには、収容避難所へのWi-Fi環境の整備が必要と考えるが、今後の整備について問う。

(答弁) 既に石薬師高校、白子高校および神戸高校でWi-Fi環境が整備されている。本年度末には、本市の40校全ての小中学校の体育館へのWi-Fi環境の拡大を予定していることから、災害時の有効活用を図っていく。

その他の質問 ○樹木管理



諸派  
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

### 学校給食費の値上げについて

(質問) 給食無償化の世論が広がり、県内他市町では国の交付金を活用し、期間限定の無償化または据置きをし、市民負担を減らす努力をしているが、今年度、本市はその交付金を一般財源と入れ換え、来年度の給食費を月額相当額小学校600円・中学校650円値上げする。公費負担せず値上げするのは県内で本市のみである。基金に戻した財源を活用し給食費の据置きをすべき。

(答弁) 給食の運営状況・財政状況から据置きは難しく、保護者負担を増額する。

その他の質問 ○市民の地域公共交通 ○インフルエンザワクチン費用の助成



諸派  
(日本共産党)

石田 秀三 議員

### 生活保護行政について

(質問) 生活保護の申請者にとって一番の壁になるのが「扶養照会」である。2021年に厚生労働省は、「要保護者が扶養照会を拒む場合や、親族が扶養できないことが明らかな場合は照会しなくてもよい。」と通知している。申請者の意向を尊重した窓口対応をされたい。

(答弁) 扶養義務者による扶養は、生活保護の前提要件ではなく、厚生労働省通知により調査を行わないケースも示されている。本市では、扶養義務調査が原因で市民が申請をためらうことのないよう配慮している。

その他の質問 ○エアコン設置・更新への助成を



無所属

矢田 真佐美 議員

### 人生100年時代の健康づくり

(質問) ①スマートフォンなどの端末に触れる機会の増加による成長途上のこどもの視力低下の現況と対策は。②健康寿命を延ばす策として、特に女性の骨や歯に対する施策はあるか。

(答弁) ①乳児家庭全戸訪問や定期健診などで端末に頼らない子育てや接し方を啓発し、健診での早期発見に努める。全国に比べ視力低下の割合は低いですが、学校でも適正な端末使用を推進する。②歯周病検診の対象拡充と骨密度測定会や教室など骨粗しょう症予防に取り組む。

その他の質問 ○鈴鹿市のDX推進  
○休日の保育利用



諸派(公明党)

船間 涼子 議員

### こどもと若者のウェルビーイング

(質問) こどもたちが未来を切り開く力となる新たな価値創造の取り組みが必要であり①探究学習②不登校児童生徒の対応③夜間中学・学びの多様化学校についての教育委員会の見解を伺う。

(答弁) ①今後の教育施策を検討する中で探求的な学習の有用性を十分に勘案し、導入の可能性を検討する。②学校、教育委員会、関係機関などが連携し、多面的な支援体制の充実を図る。③個々の状況に応じた支援ができるよう設計や準備がされている。本市からも教員派遣を検討するなど、今後も不登校支援の充実に向けていきたい。



新緑風会

山中 智博 議員

### 戦後80年と記憶の継承について

(質問) 「軍都」として誕生した本市の歩みをあらためて検証し、戦争の記憶を未来に継承する取り組みが必要ではないか。

(答弁) 令和6年度から郷土資料室の資料をデジタル化しパソコンで検索・閲覧できるデジタルアーカイブ化に取り組んでおり、戦争関連の資料にも令和7年度から取り掛かる。本市では戦後40年の昭和60年に「非核平和都市宣言」を行い、毎夏には啓発イベント「平和への祈り展」を開催している。本展を記念事業として内容を拡充し、鈴鹿にも戦争があったことを語り継ぎ発信していく。



新緑風会

水谷 進 議員

### 住宅の耐震化について

(質問) 市民への住宅耐震化に向けた働きかけについて。

(答弁) 南海トラフ地震臨時情報の発表により、耐震化への関心が高まっている。この機会を捉え、無料耐震診断を受けていない方や、すでに耐震診断を受けたものの、耐震改修が未実施の方に対しては、ダイレクトメールなどにより直接的に普及啓発を行う。また、耐震補強工事における「簡易で低コスト」な工法の普及をさらに図ることにより、市民の負担軽減につながる環境を整備していく。

その他の質問 ○鈴鹿シティマラソン



新緑風会

大杉 吉包 議員

### 下水道事業について

(質問) 公共下水事業については、令和9年度以降は未普及解消の新設事業から維持管理事業へ移行することになる。令和7年1月28日、埼玉県八潮市において下水道管の破損による事故が発生したが、本市の公共下水道は大丈夫か。

(答弁) 市内で最大の口径2,000ミリメートルの下水管を、管理者である県が自主点検した結果、異常はないとの回答を受けている。それ以外は、本市がカメラによる調査を実施したが、緊急対応するような結果はなかった。

その他の質問 ○農地に設置する太陽光発電設備



## 南部地域の取り組みについて

(質問) 「天栄中学校区の学校再編計画」の意見公募の取り扱いについて、肯定的7割、否定的3割と公表したことは、意見を公平に取り扱っておらず、条例違反ではないのか。

(答弁) 再編計画の内容に対し7割の方が肯定的であると判断したのは、全体の傾向を把握するために行ったものであり、賛成、反対の意見の多寡により方向性を判断するためのものではなく、市長のコメント自体が条例違反に当たるものではない。多数意見も少数意見も同じ取り扱いをし、計画素案の修正などを行っている。



## 中部ブロック発注者協議会での重点事項への対応状況について

(質問) 中部ブロック発注者協議会で設定された重点事項の対応状況と今後の取り組みはどうなっているのか。またi-Construction2.0への対応はどうするのか。鈴鹿市の見解を求める。

(答弁) 低入札価格調査、週休2日制工事、ASP活用工事の導入は目標達成。施工時期の平準化、ICT活用工事は令和7年度中の運用を目指す。i-Construction2.0については、国・県の動向を十分注視し、本市の実情に合わせた取り組みを進める。

その他の質問 ○空き家への行方不明者 搜索協力



## 鈴鹿市斎苑について

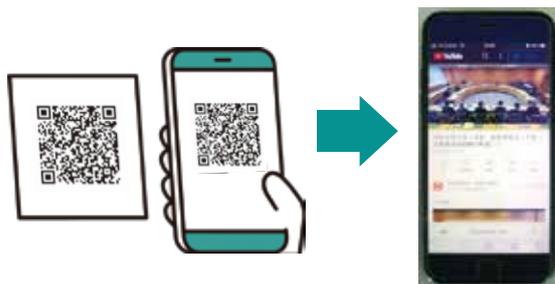
(質問) 本年1月にお亡くなりになり、火葬されるまで約一週間を要した方々がおられたと聞いているが①市の斎苑の現状②今後の取り組みについてお聞きしたい。

(答弁) ①火葬件数は超高齢社会を背景に年々増加傾向にある。今後さまざまなことに配慮しながら施設管理運営に努める。②改築に係る基本計画策定に当たり、必要な火葬炉数の算定をするなど、総合的な観点から検討を行い、新たな斎苑建設をしたいと考えている。

その他の質問 ○旧伊勢街道 ○産業用地開発支援事業補助金



各委員会での主な議案審査状況、討論、代表質問および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。



※動画視聴の際は、料金プランなどを確認し、思いがけず高額な請求を受けることにならないようご注意ください。

## 鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会調査報告

市議会では、鈴鹿亀山地区広域連合の在り方について調査研究するため、令和6年6月28日に鈴鹿亀山地区広域連合検証特別委員会を設置し、計8回にわたる調査研究を行ってきました。また、大阪府四條畷市において、くすのき広域連合の解散について視察を行い、知見を広げました。そして、それらの結果を調査報告書としてまとめ、3月10日の2月定例議会本会議で桐生常朗委員長から議場報告を行い、議長へ提出しました。

調査報告書では、介護保険事業は基礎自治体の特色を出しながら進めることが求められる中、2市で足並みをそろえて対応する必要性から、地域ニーズに対しスピード感のある対応が困難となっていることや、地域包括支援センターの業務範囲や役割分担が分かりづらく、調整が難しい状況であるこ



と、また、地域支援事業については、広域連合が保有する介護情報などのデータの利活用が十分行われておらず、地域特性に沿った効果的な事業展開が十分行えていないことなどを課題としてあげています。一方、鈴鹿市単独であれば、データに基づく地域特性や課題を把握し、実情に沿ったサービスを迅速かつ効果的に創出・提供できるなどの利点をあげています。

これらのことなどから、広域連合については、解散も含めた抜本的な見直しが不可欠であると結論付けましたが、見直しの際には、費用対効果の検証や、サービス利用者および事業所に不利益が生じないように、十分検討する必要があることも確認されました。

また、これらの内容を提言書としてまとめ、調査報告書とともに3月25日、議長から市長へ手渡しました。

調査報告書および提言書は、市議会ウェブサイトに掲載しています。また、Youtubeで特別委員会の録画配信を行っています。ぜひご覧ください。



調査報告書



特別委員会  
YouTube



提言書

## 第14回議会報告会を開催しました



令和7年2月2日に、鈴鹿医療科学大学白子キャンパスにおいて、第14回議会報告会を開催しました。今回も昨年度に引き続き広聴に重点を置き、大学生を中心とした若者世代を対象に「鈴鹿の現在と未来について語ろう～住みやすいまち・住み続けたいまちとは～」をテーマにして、議員とのワークショップ（意見交換会）を実施しました。

当日は、鈴鹿医療科学大学や鈴鹿大学などの市内・近隣市の大学の学生40名の参加があり、参加申込時のアンケートに基づき設定したテーマ別に8つのグループに分かれ、鈴鹿市の良いところ・足りないところや未来の姿について語り合いました。参加者からは、子育て、スポーツ、教育、交通や都市の環境、防災、地域づくりなどについて、若者ならではの貴重なご意見をお伺いすることができました。

皆さまから頂いたご意見は、今後の議会活動の参考にさせていただくことはもちろんですが、3月24日に執行部に対して実施結果の情報提供を行い、市職員に情報共有していただくとともに、今後の施策検討の参考としても活用いただくよう願いました。

議会報告会の実施結果（アンケート結果含む）は、市議会ウェブサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。



実施結果



ワークショップの様子

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

## 議会にお越しください

### ●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります（締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。）。

なお、会議の開催予定は、市議会ウェブサイトや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

### ●音声を聞き取りにくい方に

議場の傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドホンを貸し出していますので、議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳や要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局へお申し付けください。

## 議会に来られなくても…

### ●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ（CNS・112ch）とYouTubeでライブ中継しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

### ●委員会などをライブ中継しています

委員会などの様子をYouTubeでライブ中継しています。ライブ中継の対象会議は、常任委員会・特別委員会・全員協議会です。

### ●録画映像も配信しています

ライブ中継した本会議や委員会などの録画映像をYouTubeで配信しています。

※録画映像のアップロードには数日を要します。

### ●会議録でもっと詳しく

会議内容の詳細は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所本館14階の議会図書室と4階の情報公開コーナーで閲覧ができます。また、市議会ウェブサイトでも公開しています。

※2月定例議会の会議録は、6月上旬に配置予定です。

YouTubeは市議会ウェブサイトからご覧いただけます。



## 5・6月の会議日程

（注）日程は変更になる場合があります。

5月	22日	木	10:00	文教環境委員会 産業建設委員会	6月	20日	金	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)	
	23日	金	10:00	総務委員会 地域福祉委員会		23日	月	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)	
	29日	木	10:00	議会運営委員会		24日	火	10:00	常任委員会予備日※	
6月	5日	木	10:00	本会議(提案説明)		25日	水	10:00	常任委員会予備日※	
	6日	金	14:00	議会運営委員会		26日	木	10:00	予算決算委員会	
	13日	金	10:00	本会議(質疑・一般質問)	各派代表者会議(予算決算委員会終了後)					
	16日	月	10:00	本会議(一般質問)	広報広聴会議(各派代表者会議終了後)					
		17日	火	10:00	本会議(一般質問)		27日	金	10:00	議会運営委員会
		18日	水	10:00	本会議(一般質問)	30日	月	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)	
	議会運営委員会(本会議終了後)				全員協議会(本会議終了後)					
	19日	木	10:00	各派代表者会議(議会運営委員会終了後)	議会だより編集会議(全員協議会終了後)					
本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託)										
				予算決算委員会(本会議終了後)						

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

### 皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

### 鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL: 059-382-7600 FAX: 059-382-4876  
E-mail: giji@city.suzuka.lg.jp